

日本一幸せに暮らせる都市を目指す 積極型予算

三島市議会2月定例会で令和6年度予算案の審査を行い、原案どおり可決されました。 予算の詳細はこちら
一般会計予算は過去最大の450億7千万円で、前年度対比6.1%増となりました。
第5次三島市総合計画に沿った令和6年度の主な事業を以下でご紹介します。



交流とにぎわいのあるまち



- ・伊豆ファン倶楽部推進事業 9,000万円
熱海市、函南町と連携し、エリア内の店舗などでポイントが利用できる伊豆ファン倶楽部アプリの利用を広め、地域の活性化を図る。
- ・サテライトオフィス進出事業費補助金 850万円
テレワークの導入など多様な働き方に対応するため、市内に新たに賃借してサテライトオフィス等を開設するIT企業等に対し、家賃等の一部を支援する。

- ・みしまファンネット推進事業 792万6千円
多様な媒体の相互連動によるシティプロモーションを行う。また、絵本作家による「水の都三島で子育て」を題材としたイメージイラストをシンボルデザインとして活用する。
- ・観光振興事業 4,388万6千円
令和6年度は、箱根西麓三島野菜などの地場産品のブランド力向上および販路拡大を図るためのニーズ調査を実施するほか、三島の観光資源を基にした着地型旅行商品等の造成を行う。

快適で暮らしやすいまち

- ・住むなら三島移住サポート事業費補助金 3,000万円
住宅を取得して県外から移住する若い世帯や県内他市町から市内の親世帯と近居同居をしようとする若い世帯に対し、その取得に要する経費の一部を支援する。また、令和6年度から、市内に中古住宅を取得した若い世帯に対し、その取得に要する経費の一部を支援する。



- ・公共交通運転手不足対策事業費補助金 400万円
公共交通の運転手不足解消を目的として、公共交通事業者が新規に第二種免許を取得する者に対して助成する免許取得費用の一部を補助する。
- ・三島駅南口東街区再開発事業 17億4,140万7千円
事業関係者と連携して導入機能等を検討するとともに、地下水のモニタリング調査を継続する。また、再開発組合が実施する工事等の費用の補助を行う。

共に創る持続的に発展するまち

- ・地域戦略事業 5,451万8千円
マスコットキャラクターを活用したシティプロモーションや結婚支援、関係人口の創出、市内大学との連携を推進する。また、2市2町広域連携で自動運転バスの実証実験を実施し、社会受容性の向上を図り、運転手の担い手不足等の地域課題解決を目指すほか、坂地区の活性化を図るため、坂地区振興計画を策定する。

- ・文書管理システム実施事業 2,723万4千円
市役所業務のデジタル化を推進するため、電子決裁機能が搭載された文書管理システムを導入し、文書の発生から廃棄に至るまでを電子的に管理することにより、事務の効率化やペーパーレス化を図る。
- ・スマート市役所推進事業 2,319万5千円
三島市スマート市役所宣言に基づき、自治体DXを推進する。令和6年度は、外部団体とのペーパーレス会議システム導入や事業評価AI構築準備業務委託を新規に実施する。

安全・安心に暮らせるまち

- ・森林環境管理事業 2,125万円
森林整備のほか、環境教育など人材育成を実施する。令和6年度は、市産材利用の普及啓発などの一環として、1歳6ヵ月児を対象に木製玩具を配付する。
- ・一般廃棄物処理計画事業 966万4千円
循環型社会形成推進地域計画を策定するほか、災害廃棄物仮置場設置運営訓練、食品ロス削減に関する啓発等を行う。

- ・無線通信広報事業 4億9,704万8千円
災害情報等伝達のための同報系防災行政無線および移動系防災行政無線、IP無線、簡易無線の維持管理等を行う。令和6年度から8年度にかけて、老朽化が進む同報無線のデジタル化再整備工事を行う。
- ・消防施設整備事業 7,697万2千円
建設から41年が経過して老朽化が進む第18分団(松本)詰所の建設用地の購入および建物の実施設計業務を行う。



健康で福祉が充実したまち

- ・子ども家庭センター事業 2,933万8千円
妊産婦、子ども・子育て家庭への一体的な相談支援により子育て環境を整え、育児不安や虐待の予防等につなげる。
- ・感染症予防事業 3億798万9千円
高齢者が県外でインフルエンザおよび肺炎球菌ワクチンを接種した場合の助成などのほか、令和6年度から新たに带状疱疹ワクチンを接種する50歳以上の方を対象に助成を行う。

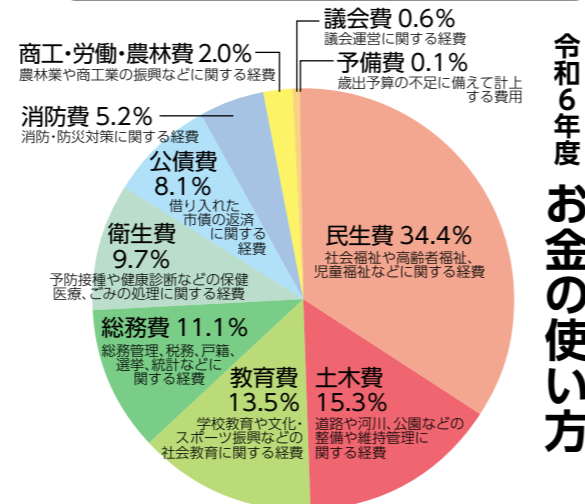
- ・運動スポーツ習慣化促進事業 984万1千円
みしまあそVIVA!プロジェクトを実施し、キッズ健幸アンバサダーによる保護者へのアプローチ等を行う。また、アーバンスポーツ体験会の実施、子育て世代の女性をメインターゲットにした運動講座の開催等を行う。
- ・放課後児童クラブ整備事業 432万円
山田放課後児童クラブにおいて、夏休み中の入会需要の増加に対応するため、夏休み期間限定の児童クラブ増設を行う。

令和6年度会計別予算

会計別	令和6年度	令和5年度	前年度比
一般会計	450億7,000万円	424億8,000万円	25億9,000万円
特別会計			
国民健康保険	109億5,512万円	114億331万円	▲4億4,819万円
介護保険	96億4,315万円	95億3,869万円	1億446万円
後期高齢者医療	18億2,263万円	16億4,168万円	1億8,095万円
墓園事業	874万円	844万円	30万円
駐車場事業	1億1,739万円	1億3,953万円	▲2,214万円
小計	225億4,703万円	227億3,165万円	▲1億8,462万円
水道事業会計	27億3,174万円	28億3,668万円	▲1億494万円
下水道事業会計	44億5,700万円	44億8,975万円	▲3,275万円
合計	748億577万円	725億3,808万円	22億6,769万円

※令和6年度会計別予算の金額については、調整により万円未満を四捨五入して表記しています。
※各基本目標でとりあげている事業については、「令和6年度予算案の概要」を基に記載しています。

令和6年度一般会計歳出予算



令和6年度 お金の使い方

未来につなぐ人材を育むまち

- ・不登校対策事業 2,847万7千円
小・中学校の不登校問題に対応するため、生涯学習センター内で学習支援を行うふれあい教室を引き続き実施する。また、新たに南中、北中、中郷中学校に校内支援室を設置する。
- ・部活動振興事業 957万4千円
各中学校に配置する部活動指導員を35人に増員する。また、部活動の一環として全国大会等に出場する生徒が在学する中学校に賞賜金を交付する。

- ・絵本のまち三島推進事業 362万3千円
新規主要施策として絵本を通して創造性や想像力の育成などを図る。令和6年度は、絵本作家の対談形式による講演会や、父親を対象とした絵本読み聞かせ講座を行う。また、展示の拡充や、絵本のまち三島のロゴマークコンテストなどを通じて絵本に親しむまちづくりを推進する。

